

記者資料提供（令和5年7月26日）

阪神国際港湾株式会社

神戸事業部・企画部 中村・小嶋 TEL：078-855-3341

神戸港ポートアイランド（第2期）南ふ頭コンテナターミナルの機能拡張について

阪神国際港湾株式会社では、現在、国、神戸市と協力しながら、大型化が進むコンテナ船への対応や外航・内航コンテナ貨物の積替え利便性の向上、バースウィンドウの柔軟な活用など、施設の一体的な利用による効率的な運営が可能な生産性の高いターミナルの構築に向け、神戸港ポートアイランド PC18 西側拡張工事に加えて、神戸港ポートアイランド（第2期）南ふ頭 PC13-17 コンテナターミナルにおいて、その背後地を含めた拡張・機能強化の工事を実施しております。

これまで、拡張後のレイアウトや活用方法などについて、現在の PC-13 利用者（株式会社上組（PC18 拡張部へ移転）、株式会社住友倉庫）、PC-14 利用者（株式会社日新）、PC-15～17 利用者（株式会社商船三井、株式会社住友倉庫、山九株式会社、ニッケル・エンド・ライオンズ株式会社）に川崎汽船株式会社を加えた7社と協議を進めてまいりましたが、今般、関係者と基本的な合意に至りました。今後、2025年（令和7年）度の供用開始を目指して、工事の進捗を図るとともに、引き続き、関係者と具体的な協議を進めてまいります。

工事完成後は、岸壁水深：-15～-16m、岸壁延長：約2,200m、ターミナル面積：約88haの日本最大級のコンテナターミナルとなり、既に導入が進んでいるFC換装型のRTGのほか、新たに電動RTGやCONPASの導入も計画されるなど、環境にも配慮した効率的なターミナルとなる予定です。

1) [添付図面：ポートアイランド（第2期）南ふ頭（PC13～17及び背後地）](#)

以上